

【解説】 これは、ウィギントンが自分のサイトに、“Putin Planning to Release Evidence Exposing 9/11 As an Inside Job” という他所の記事を引用紹介し、これに自分の題（False Flags and the US/NATO Juggernaut of Insanity）と序文をつけたもの。最後の読者のコメントは我々が選んだものである。この3者の息が合うところに注目すべきだろう。Juggernaut は、巨大なクリシュナ神像の山車で、巨大な破壊力、残忍な犠牲を意味する。

ニセ旗攻撃と米/NATO の狂気のジャガーノート

May 29, 2014

Tell Me Now (GeoengineeringWatch.org)

9.11 は、地球的パワー・エリートの完全な狂気を全開してみせた出来事だった。スチール構造の高層ビルが、基本的に炭素の火で崩壊するだろうか？ 「ビルディング7」が数秒で、しかも何も当たっていないのに、自由落下スピードで崩れ落ちるだろうか？ 最初は多くの人々が、はっきりものを言うのをためらっていたが、今それが急速に変わりつつある。9.11 調査委員会報告が、ビルディング7（50階建てのスティール構造建築）の完全崩壊に言及さえしていないのは、なぜだろうか？ それを説明するには、“解体”しかないからである。我々すべてが 9.11 問題に、もっと世間の目を開かせるべきである。これがはっきりすれば、気象操作や、この権力によって犯された他のすべての残虐行為に、人々の注意を引き付けることができるだろう。



今アメリカ人は目覚めなければならない。米政府と、すべてとは言わないが、ほとんどの NATO 諸国は、国家スポンサーによるテロリスト以外の何ものでもない。地球上のほとんどすべての国家が腐敗しているが、グローバル・パワーもまた明らかに、軌道を外れた狂

気を中心である。この権力と犯罪行為は、あまりにも長い間、完全に無拘束の状態にあったために、今見え始めたその脅威の大きさを、ほとんど把握することができない。“ニセ旗テロ”から、止めどもない暗殺、地球人類への何十年にも及ぶ毒物散布に至るまで、この権力構造は完全に好き放題をやっている。この方向に変化をもたらす唯一の考えられるチャンスは、アメリカ人民が目覚まし、完全な自己満足によってその成長をここまで助けてきたこの怪物と、正面から対決することである。——Dane Wigington

プーチンが 9.11 を内部犯行として暴く証拠を公表の予定



The Truthseeker: NATO false flags in Ukraine (E39)——日本語訳はないが必見のビデオ

アメリカのロシアの関係が、冷戦時代に比すべき、かつてない緊張状態に達しているこの時、剛腕のプーチンは、オバマの泣き所を十分に知った上で行動しているようだ。何人かのアナリストの最近の分析によると、オバマを永久に立ち上がれないようにするために、プーチンは在職中に、9.11 テロ攻撃がインサイド・ジョブ（内部犯行、自作自演）であることを明らかにする証拠（衛星写真）を公表する構えでいるらしい。

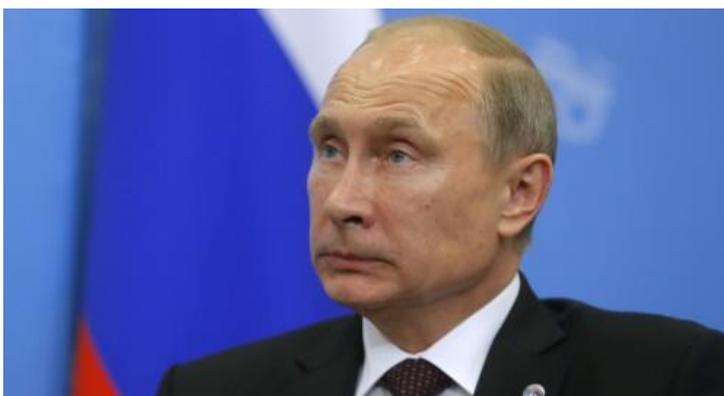
これら“inside job”と言われているものは、“ニセ旗攻撃”としてよりよく知られ、これは特定の戦略的なやり方で、一般大衆を騙して、本当でないものを本当と信じ込ませるものである。言い換えると、米政府が、自国と自国民に対して攻撃を計画し、あたかも特定の敵がその残虐行為を行ったかのように、これを実行する作戦のことである。



これはアメリカが、アメリカの敵だと宣伝したグループの国土に興味があることを証明するものだった。両サイドから多くの人々が説明しているように、アメリカは彼らのオイルに強い関心を持ち、これがニセ旗攻撃と言われるものの動機だったと考えられている。

いくつかの記録文書が公開されて、これは、アメリカが利己的な利権を追及する軍事行動では、決して目新しいものでないことがわかった。そのために、世界の他の国々は、アメリカがそのアジェンダを実行するときのこのやり方には、うんざりしているようだ。

よその国を侵略したいがために同国人を殺し、それからどこへ行っても他国籍者を殺すという、米政府がやっている犯罪を暴こうとして、何人かの人々は、アメリカの残虐行為を明らかにする軍事行動の詳細をリークしようとしてきた。憶測されているその一人はプーチンその人であり、彼は、アメリカがあるニセ旗攻撃を共謀したことを、一分の間違ひもなく証明する、ある衛星写真を持っていると言ったと言われる。



9.11 攻撃がアメリカ政府の仕業だと完全に証明されたとしたら、その反響はどのようなものになるだろうか？ 政府に対する信用と信頼は完全に砕け散り、あらゆる道路上に暴動が起こり、市民蜂起が始まるであろう。

そうなったとき、アメリカは世界の舞台で、どのようなものに映るだろうか？ イスラム過激派の容易いターゲットになるだろうか、それとも他の競争する超大国に政権を奪われるだろうか？ こんなシナリオは考え過ぎかもしれないが、こんな状況に他国の軍隊がつけこむことは容易に想定される。

あなたはどう思われるか？ プーチンは本当にそのような証拠を握っているのだろうか？ それがあるために、オバマはこのところ、プーチンに対して物腰が柔らかくなったのだろうか？——ひょっとして、ゆすられているとか？ あなたのご意見を下のコメント欄に書いていただきたい。

——Source: Tell Me Now

False Flags and the US/NATO Juggernaut of Insanity に対する反応 :

Michael B says:

June 2, 2014 at 5:20 am

すべてが暴かれねばならない。しかし困難は、そのあまりの巨大さのゆえに聞く人が圧倒されてしまうことである。これについて真実を発見すると、それは深いウサギの穴につながっていき、そこでさらに追及すると、ますます世界が、我々の考えていたものでなかったことがわかってくる。求められているのは、金融、政治、教育、国民保健といったものの倒錯、また、なぜ戦争や不況が起こるかを説明するような、現実の世界史における包括的で簡潔な教訓を編集することである。こうした論考には——それはバラバラだが、すでに多くの点でなされていることだが——簡潔さと詳しさの間の綱引きがなければならないだろう。もっと多くの大衆の注意を引くだけでも十分だというなら、現在ある他の資料をさらに調査することで、もっとその目的に役に立つであろう。このウェブサイト [GeoengineeringWatch.org] はすばらしい。しかしあまりにも論文と情報がぎっしりつまり過ぎて、多くの人が否定的な見方をするかもしれない。これや他のトピックスを人々に紹介するとき、私は、疑い、不信、否定、怒りから、完全なスイッチ・オフに至るまで、あらゆるタイプの反応に出くわしている。私はしつこくは言わない。しかしこの段階では、

デインが言っているように、人が自分のことをどう思うか考えているような余裕はない。我々は、聞いてくれる人を見つけるために、できる限り多くの人々に訴えねばならない。私は私の医者にそのことを話したが、彼は、聞いたことがないと言った。私は調べてみるように言った。次に彼に会ったとき、調べたかと聞いた。彼は調べてはいないが、別の患者がその後、同じことを言っていたと話した。だから人々は今、これを話題にし始めているのである。この知識の拡散は、口コミによって次第にはずみを増していく方法を取ると思われる。私は、またしてもケムトレイルか、というような顔をする私の家族に耐えている。私の周囲の人々の無関心は、あっけにとられるほどである。しかし私は、この話題を人々に紹介するのをやめるつもりはない。しかし可能性のある聴き手を逃さないように、紹介の方法を工夫しなければならないと思っている。もし他の人が、穏やかに納得させる方法を論ずるようなときには、私は喜んでその話を聞く。注意を引き付けるどんな細かい、どんな大まかな事実も、効果的で組織だった方法で教えなければならない。